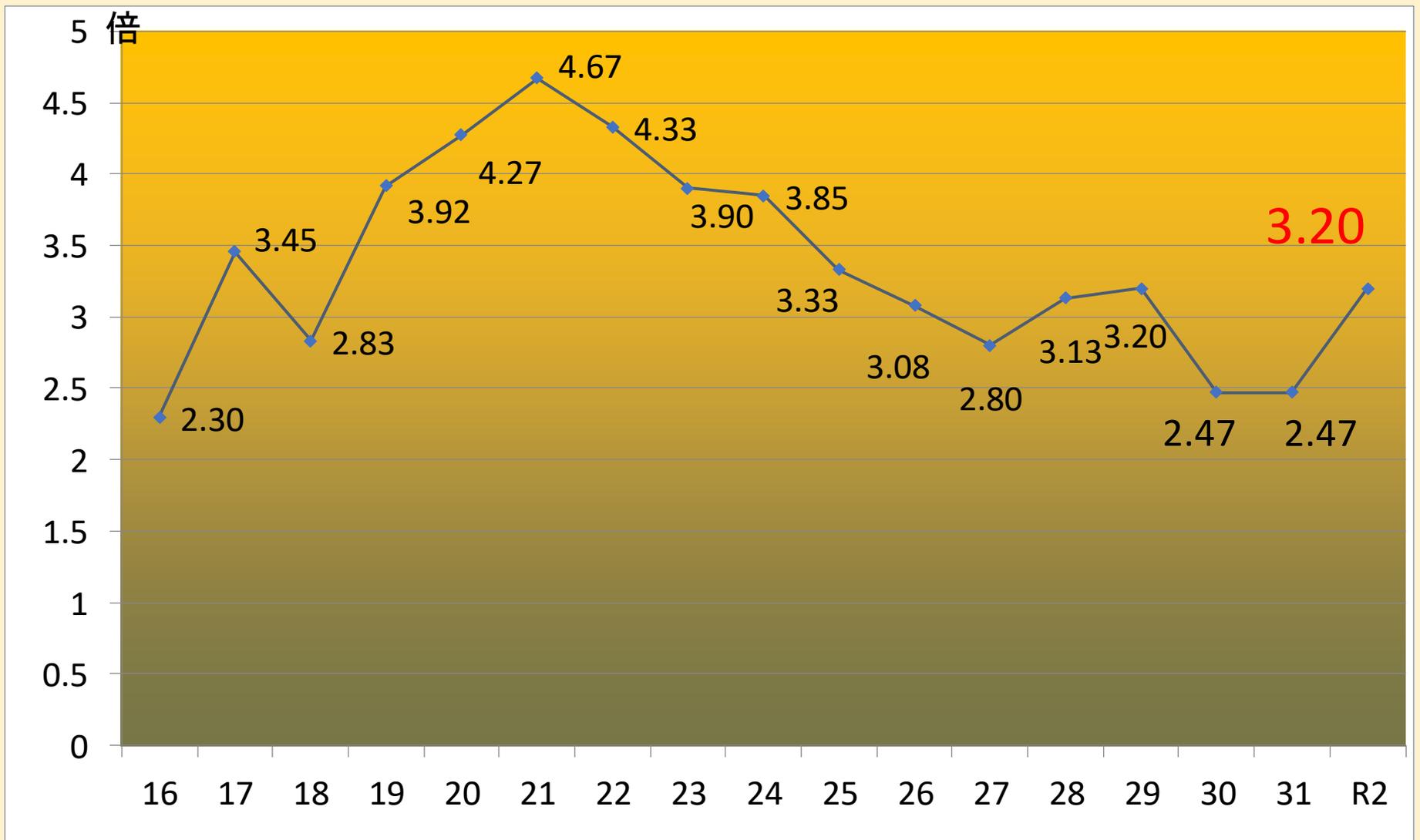


「臨床心理学コース」
—入試・学び・進路—

東北大学大学院教育学研究科
教育心理学講座
臨床心理学分野

1. 入試

- H16-R2年度入試 過去17年間 740名受験 221名合格
- 全体の倍率としては、 $740/221=3.35$ 倍
- 近年では15名前後が合格
- 第1期試験で10名前後、第2期試験で5名前後
- 過去問は教務係へ



年度入試

図. 臨床心理学コース(博前)の倍率の推移

実数でいえば.....

年度	合格	不合格	受験者数
16	10	13	23
17	11	27	38
18	12	22	34
19	12	34	46
20	11	36	47
21	13	49	62
22	12	40	52
23	13	38	51
24	13	37	50
25	12	28	40
26	12	25	37
27	15	27	42
28	16	35	51
29	15	33	48
30	15	22	37
31	15	22	37
R2	14	31	45
合計	221	519	740

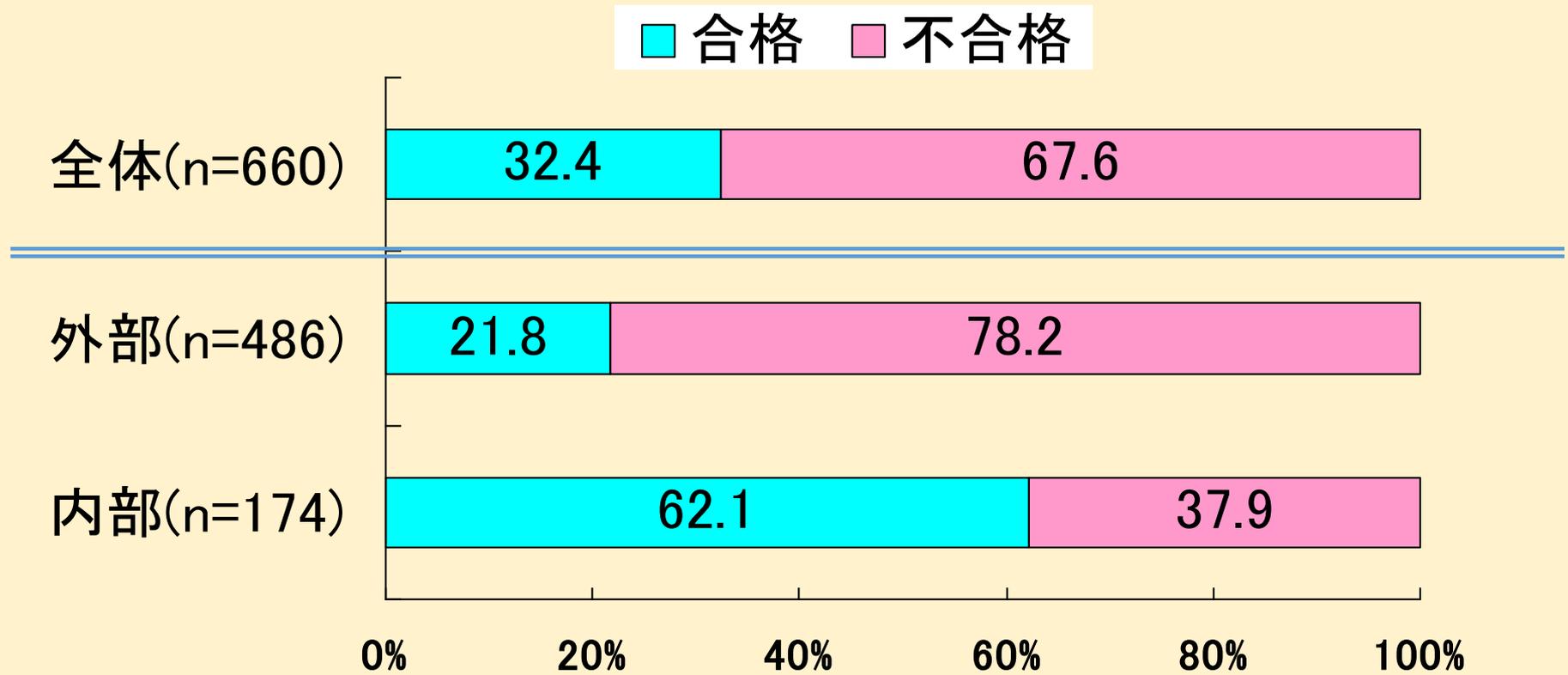


図. 一般入試の合否(H16-R2): 内部・外部別
(内部=東北大学教育学部)

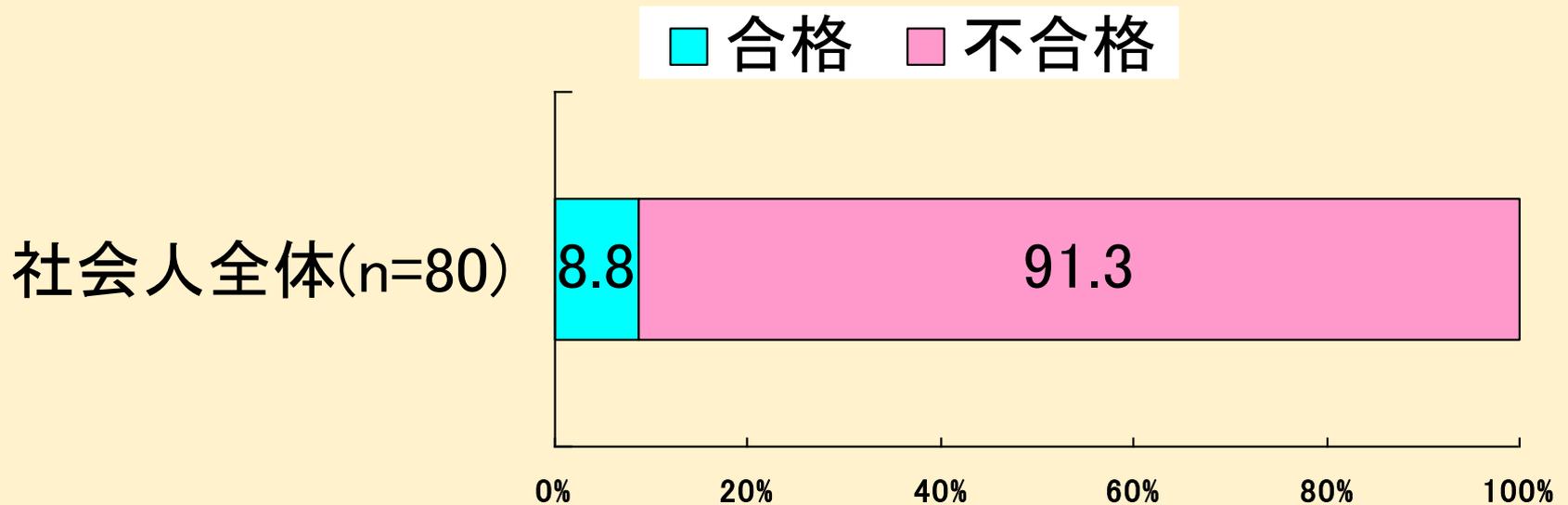


図. 社会人入試の合否(H16-R2)

合格者7名の内訳:

仙台市職員(心理職)、宮城県教員、
 宮城県職員(心理職)、医療法人心理職員、
 製薬会社MR、理学療法士

※専門試験があり、一般入試と同一です。
 ※社会人経験者でも一般入試で合格する人も
 います。(英語が得意な場合など)

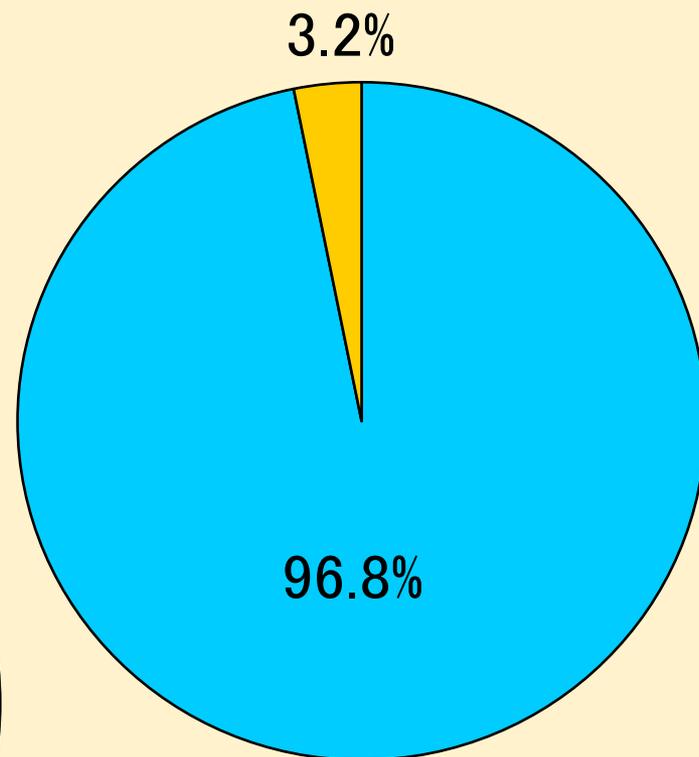
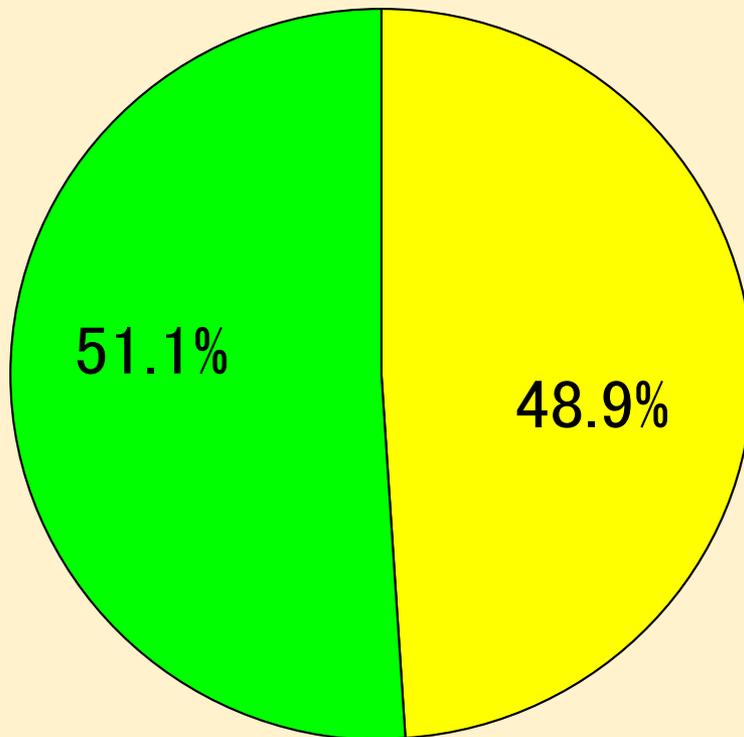


図. 合格者221名の内訳(H16-R2)

表. 合格者221名の出身大学

東北	東北学院	東京女子
宮城教育	宮城学院	ルーテル
福島	仙台白百合	(中国)西南大学
弘前	白鷗	(中国)山東大学
秋田	国際基督教	(中国)東南大学
岩手	産業能率	(中国)福建医科大学
山形	早稲田	(英国)York大学
北海道	慶應義塾	(米国)カンザス州立大学
北海道教育	立教	(韓国)忠南大学
筑波	立正	
千葉	青山学院	
東京学芸	上智	
新潟	立命館アジア	
金沢	神奈川	
名古屋	法政	
愛媛	東北福祉	
京都	名古屋学院	
大阪	聖徳	
上越教育	聖心女子	
岐阜	日本女子	

※学部での専攻が
心理学とは限らない。

- 法学
- 哲学
- 文化人類学
- 福祉学
- 教員養成
- 教養
- 数学
- 日本語

2. 学び

- 7名の教員。
- 臨床心理士第1種指定校
- 公認心理師にも対応
- 博士課程後期を有する
アカデミック指向
先輩からの支援
- 図書館、TA制度など大規模大学のメリット
- 地下鉄利用可
- 貧弱な院生室
- 学内実習：「臨床心理相談室」
- 学外実習：バラエティに富む

2019年度の学外実習

医療領域

- 東北大学病院(全員参加)
- 宮城県精神医療センター
- 宮城県立がんセンター
- 国見台病院
- 青葉病院
- 東北会病院
- 緑ヶ丘病院
- ストレスケアクリニックルメート
- 仙台ペインクリニック
- 宮城県子ども総合センター(デイケア)
- 仙台市精神保健福祉総合センター(デイケア)

福祉領域

- 宮城県中央児童相談所
- 仙台市児童相談所
- 仙台市発達相談支援センター
- 仙台天使園(児童養護施設)
- 小松島子どもの家(児童心理治療施設)(全員参加)
- 大野田たんぽぽホーム(児童発達支援センター)
- ここねっと(発達支援センター)
- LITALICOワークス仙台青葉(就労移行支援事業所)
- アビリティーズジャスコ(就労移行支援事業所)
- manaby(就労移行支援事業所)

矯正領域(全員参加)

- 東北少年院
- 青葉女子学園
- 仙台少年鑑別所
- 宮城刑務所

教育領域

- 仙台城南高等学校(全員参加)

産業領域

- ジャパンEAPシステムズ東北支社

博士課程前期のプロセス

- 前期1年次(M1)
 - 指導教員・副指導教員の決定(4月初旬)、単位修得
修論の取り組み
 - 「課題研究論文」提出(1月31日)
 - 臨床心理相談室でのケース担当(夏以降)
 - 学外実習:8月(矯正施設)、9月・2月(大学病院)
- 前期2年次(M2)
 - 修論の取り組み、単位修得、就職活動、
臨床心理相談室でのケース担当、学外実習(希望する施設へ)
 - 「修士論文題目」提出(6月30日)
 - 「修士論文」提出(1月10日)



教員紹介



加藤 道代 教授 (2021.3.退職予定)

- 「子どもを育てることによる親の発達」をテーマに、
 - 1) 集中的に子どもにかかわる子育て時期から子どもの自立や自立後など、生涯全体にわたる時間的視野、
 - 2) 親子の相互作用から、家族、地域に至る生態学的システムという文脈を含む空間的視野をもって研究してきました。最近では、夫婦が子育てを行う際、どのような相互調整行動(夫婦ペアレンティング)を行うのか、そうした相互作用を通じて夫婦はどのように親としての発達を遂げているのかということに興味をもって取り組んでいます。
- その他、中年期の世代性発達、支援することによる支援者の発達、震災後の支援など、人生の様々な時期とその移行期における変化と対応について考えています。

若島 孔文 教授

- コミュニケーション理論(語用論)、システム理論(統合情報理論を含む)、社会的相互作用理論などに基づき、心理療法場面、家族関係(動物を含む)、カップル関係、産業・組織におけるストレス、惨事ストレス、いじめ・ハラスメント、心理士と弁護士の協働に関する研究を行っています。
- 臨床に関しては、ブリーフセラピー、構造的家族療法、行動療法の専門的トレーニングを受け、それらを専門としています。



教員紹介



安保 英勇 准教授

- これまで、**ソーシャルサポート**、大学生の不登校、高齢者の**鬱の問題**、移民の適応などをテーマに**マクロな視点**から**心理的適応**について探求してきました。
- 現在は、地域住民の日常的な心理的問題(いわゆる**ストレス**)への**対処**や**代替療法**の研究、**若年労働者の早期離職対策**、**NEET支援**の実践に取り組んでいます。

吉田 沙蘭 准教授

- **がん**をはじめとする身体疾患をもつ**患者さん**と**そのご家族**の、心理的な問題の軽減を目指した研究をしています。
- 中でも**小児がん**が専門で、未成年の患者に病名や病状、治らないことなどを**どのように伝えるべきか**、といったことを研究してきました。
- 最近では、医療者が丁寧に説明をしても不合理な(ように見える)選択をしてしまう患者さんがいるのはなぜか、患者さんにとってより良い**意思決定**を可能にするためにどのような関わりが必要なのか、などについての研究も始めています。



教員紹介



前田 駿太 准教授

- 他者からの観察や他者との交流, 他者からの否定的評価への過度の恐れに特徴づけられる「**社交不安**」について研究を行っています。
- とりわけ, 他者からの評価に対して反応を示しやすく, **回避的動機づけ**に関連すると考えられる生体のストレス反応経路である, **視床下部一下垂体一副腎皮質 (HPA) 系の活動**に着目して研究を行っています。

砂川 芽吹 助教

- 成人期に初めて自閉症スペクトラムの診断を受けるような、「**大人の発達障害**」の方について研究をしています。
- 中でも私は「女性」に焦点を当てて、**自閉スペクトラム症を持ちながら女性として生きる**, ということについて研究をしています。



教員紹介

大場 麗 助教

- 心理療法で用いられる描画法である「風景構成法」の研究をしています。描かれていく「描画プロセス」を詳細に記述することで、その過程で何が生じ、それをどのように解釈可能かについて探索することで、心理療法の中で起こっていることを研究の枠組みで捉えることを目指しています。

修士論文(H30-R1年度) タイトル

加藤教授 指導学生

- ✓ 発達障害児者のキャリア**発達支援**に関する研究(H30)
- ✓ 中学生**親子**における内在化問題行動の評定差と子どもの疎外感の関連について(H30)
- ✓ **育児協同感**に関する研究—乳幼児を育てる**母親**に着目して—
- ✓ 思春期・青年期の子どもの揺れ動きに両親はどうはたらきかけるか—両親間のやりとりと**家族間調整**に着目して—(R1)

• 安保准教授 指導学生

- ✓ 日本における効果的な感謝介入技法の開発(H30)
- ✓ 自己複雑性とストレス反応との関連: 自己複雑性尺度の開発と**コーピング**理論における応用(H30)
- ✓ 大学生の防衛的悲観主義に関する臨床心理学的研究—実験場面と**ストレス**場面における検討—(R1)
- ✓ 緩和ケアスタッフの死のとらえ方の質的検討—職業への心理的適応と時間的展望との関連に着目して—(R1)

• 吉田准教授 指導学生

- ✓ 慢性疼痛**患者**の痛みに対する思考と家族のかかわり方に関する研究(H30)
- ✓ 不妊**治療**と仕事の両立を可能にする要因の検討—精神的負担とコーピングに着目して—(R1)

- 若島教授 指導学生

- ✓ **家庭役割**の認識および納得感とワーク・ファミリー・コンフリクトの関連 — 共働き夫婦に注目して—(H30)
- ✓ 悩みを相談しないときに行う対処と受けたサポートに関する研究(H30)
- ✓ 障害を理由とする差別に関する研究 — 自閉症児・者の母親の感じる差別と配慮に着目して— (H30)
- ✓ **夫婦**における家事の役割分担の判断基準と満足感の関連 — 性役割に注目して— (H30)
- ✓ 認知症症状に対する**家族内ユーマア**共有についての検討(H30)
- ✓ 生活保護ケースワーカーが生活保護受給者へ行う**戦略的コミュニケーション**に関する研究(H30)
- ✓ デートDV被害者が必要とする支援についての研究 — 被害の精神的深刻さに着目して—(R1)
- ✓ 現代青年の友人関係におけるからかい行動の生起 — きっかけとなる受け手の言動に着目して— (R1)
- ✓ 「空気」による葛藤場面における行動選択の意思決定プロセスの検討(R1)
- ✓ **親**の離婚を経験した子どもへのサポートに関する研究 — 子どもが知覚した周囲からのサポートに着目して(R1)
- ✓ 抑うつにおける「症状ラベル」が**対人システム**へ与える影響(R1)
- ✓ 中学生の不登校傾向に関する研究 — 学級集団に対する意識、学校生活の悩みに着目して— (R1)
- ✓ 新社会人におけるストレスとキャリアレジリエンスの関連(R1)

3. 進路

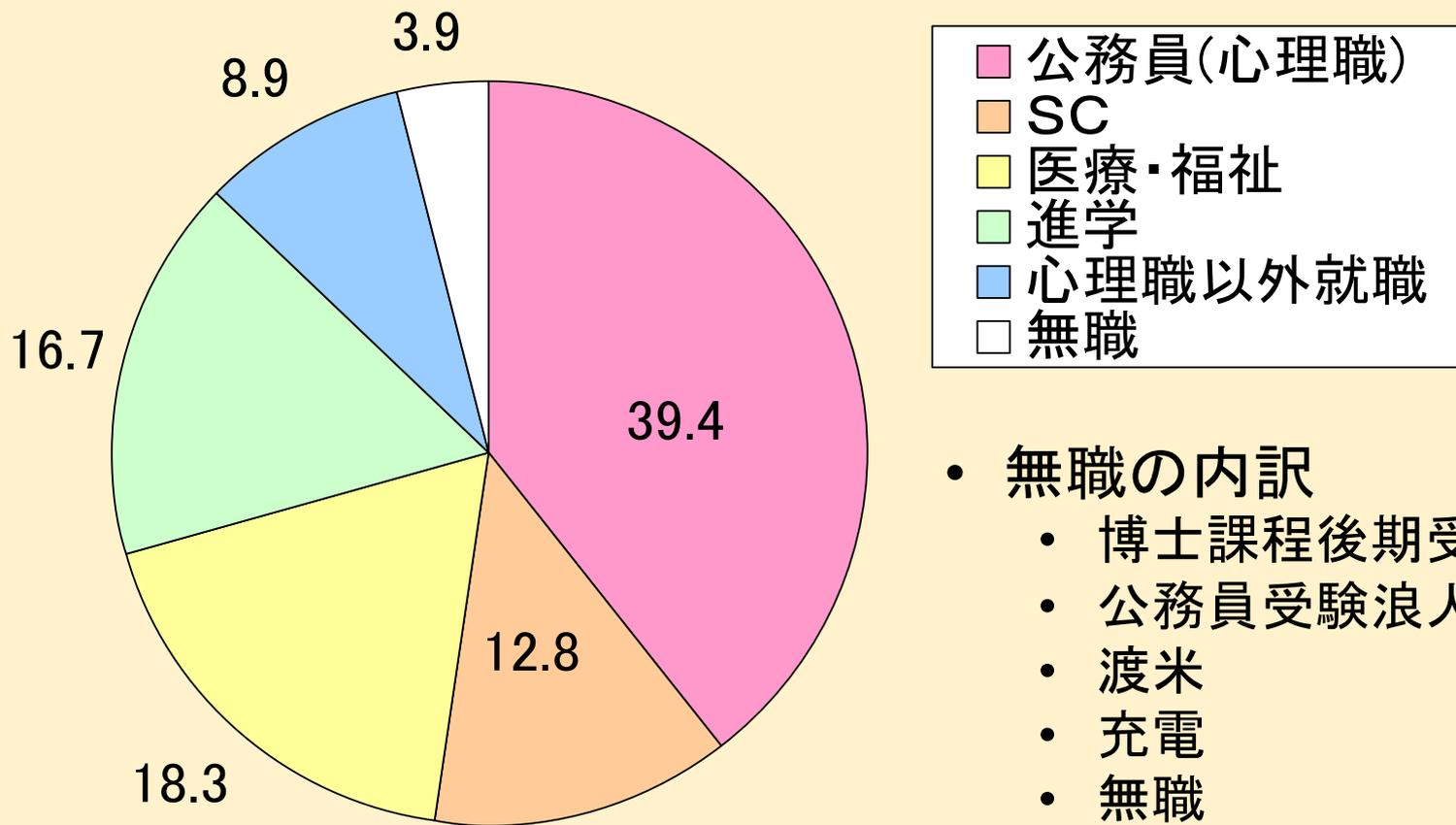
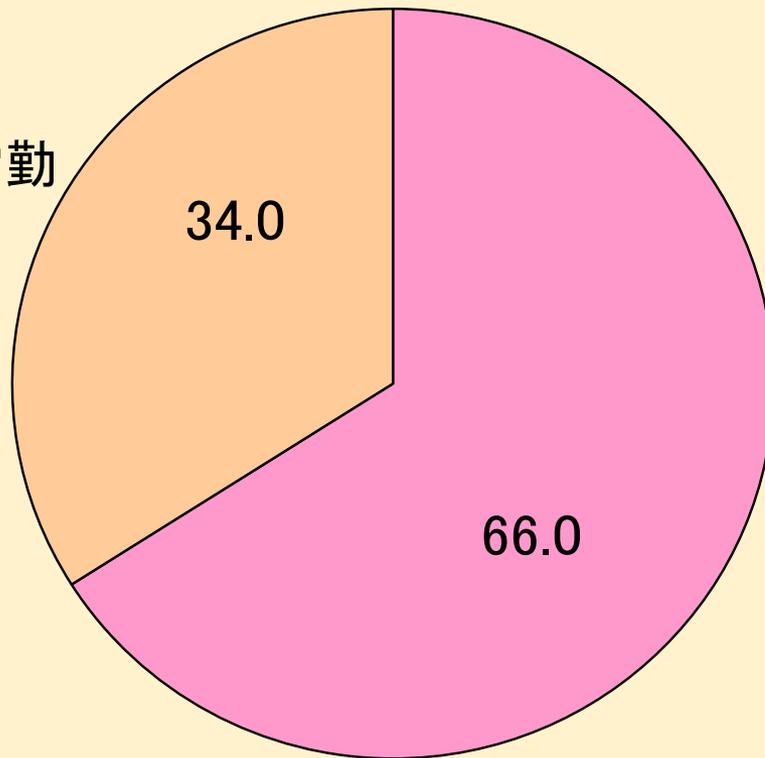


図. 修了時の進路(H16-R1修了生180名)

※非常勤も含みます²⁰

■ 常勤

□ 非常勤



常勤(93名)の内訳

仙台市(心理職)	8名
宮城県(")	6名
東京都(")	7名
その他自治体(")	10名
法務省	4名
厚労省	1名
法務技官	8名
法務教官	1名
家庭裁判所調査官	2名
保護観察官	1名
医療・福祉施設	26名
東北大学	3名
教員	3名
公務員(心理以外)	1名
民間企業	11名
僧侶	1名

図. 修了時の進路: 常勤・非常勤

(H16-R1修了生: 就業者141名)

※社会的・経済的安定を望む方には・・・

博士課程後期

- 毎年2名前後入学
- 英語の長文読解が難
- 「特定研究論文Ⅰ」(D1)
- 「特定研究論文Ⅱ」(D2)
- 博士論文執筆資格審査(D3)
- 論文3本以上
- 3-4-5-6・・・年で修了
- 就職先は大学教員など
- すんなり決まる人、苦戦する人

受験前にできれば個別にご相談を

- メールアドレスは教務係にお問い合わせください